

# 第8回日本大学全国高等学校 土木設計競技



## 一日大土木の歴史—

日本大学の土木工学科は、1920年（大正9年）に日本大学高等工学校として設置され、私立大学では最も歴史のある大学です。1923年の関東大震災の時に、第一期生の卒業生が震災復興で活躍し、「土木の日大」という名声を世に広めました。以後、歴史を刻み、6万人を超える卒業生を輩出し、公務員、公共法人、公共民間企業、コンサルタント、ゼネコン、専門建設、不動産、電気・ガス、運輸・通信、プラント、製造業と幅広い分野で卒業生が活躍しています。

2020年に土木工学科は創立100周年を迎え、新たなステージへ向かっています。

## ■第8回土木設計技実行委員会

実行委員長 | [理 工 学 部] 関 文 夫

実行委員 | [理 工 学 部] 小田 憲一, 小沼 晋, 長谷部 寛, 吉田 征史, 園部 雅史,  
三友 奈々, 山田 雄太, 佐藤 柳言, 中村 勝哉, 藤井 大地

[工 学 部] 笠野 英行, 知野 泰明

[生 産 工 学 部] 佐藤 克己, 加納 陽輔

## ■問合せ及び送付先

日本大学土木設計競技実行委員会事務局

〒101-8308 東京都千代田区神田駿河台 1-8-14

E-mail : [compe@civil.cst.nihon-u.ac.jp](mailto:compe@civil.cst.nihon-u.ac.jp)

<http://www.civil.cst.nihon-u.ac.jp/>

## “人々が交流する駅・駅前広場” —これからの駅・駅前広場の提案—

高校生の皆さんが毎日利用する駅や駅前広場は、友達と待ち合わせたり、家族が迎えに来たり、まちの人から話しかけられたり、従来から人々が交流する場としてまちの重要な拠点となっています。近年では、駅+図書館、駅+商業施設、駅+市役所、駅+温泉、駅前広場=お祭り広場、駅前広場=公園と多機能化した駅や駅前広場が登場し、その可能性は広がっています。一方、無人駅にもかかわらず、地域の人々によって毎日清掃され、花が植えられ、地域から愛されて風景の一部になっている駅もあります。

高校生の皆さんが考える「これからの駅・駅前広場」を自由な発想で提案してください。

主 催 | 日本大学土木設計競技実行委員

共 催 | 日本大学理工学部土木工学科, 日本大学工学部土木工学科, 日本大学生産工学部土木工学科



■主催者挨拶

皆さんは、“土木”という分野を知っていますか？

土木は「人々の生命と財産を災害から守り、生活を豊かにする分野」です。電気、水道、下水道、ガス、通信といった皆さんの生活を支える分野、河川、道路、公園、都市計画といったまちを支える分野、高速道路、新幹線、リニアモーターカー、空港、港湾といった国土を支える分野、さらに地球温暖化や環境対策といった地球を支える分野にまで広がっています。人々を支え、まちを支え、国を支える分野に興味のある皆さんは、ぜひ土木という分野をのぞいてみてください。

2021 年夏、日本大学では高校生の皆さんを対象とした第 8 回土木設計競技を開催します。テーマは”人々が交流する駅・駅前広場”—これからの駅・駅前広場の提案—です。

新橋駅（現汐留駅）と横浜駅（現桜木町駅）の間に日本で最初の鉄道が開業した 1872 年（明治 5 年）当時、乗客や馬車、鉄道を見物する人達で駅前広場も賑わっていました。現代の日本において、大きな駅は商業施設等を配置して多機能になって賑わっていますが、多くの駅前広場はバスやタクシー乗り場といった乗り物のための空間となり、本来の広場の機能である人々が交流したり、ゆっくり過ごしたりできる場が少ないのが現状です。

高校生の皆さんの視点で現在の駅や駅前広場を見つめ直し、これからの駅や駅前広場に求められるもの・こと・空間等について自由に発想し、具体的な提案をしてください。対象とする駅や駅前広場はよく使う駅でも良いですし、実在しない架空の駅でも構いません。駅や駅前広場の大きさや数等についても、皆さんが自由に選んでください。駅と駅前広場の両方を対象とした提案だけでなく、駅だけの提案、駅前広場だけの提案、また鉄道を含めた提案、まち・地域を含めた提案など、駅・駅前広場を中心とした具体的な提案であれば自由とします。

高校生らしい発想による「これからの駅・駅前広場の提案」をお待ちしています。

■応募資格

2021 年 4 月現在、全国の高等学校、工業高校、高等専門学校に所属する生徒の個人またはグループとします。

1 校から複数の個人及びグループの参加を認めます。

■応募方法

(1) 参加登録

8 月 16 日（月）17：00 までに、以下のフォームにて事前申込を行ってください。

途中で辞退しても構いません。

事前申込フォーム URL：https://forms.gle/4YirAf31NnmW3rdJ7

参加登録フォーム QR コード

(2) 事前申込フォームに必要な情報

- ①チーム名
  - ②代表者：氏名，所属（高校名，高校住所，科名，学年），連絡先（メールアドレス）
  - ③参加者：氏名，科名，学年 ×（人数分）
- 複数の高校混成チームの場合は，参加者ごとの高校名も記載してください。
- 事前申込フォーム送信後に代表者のメールアドレスに確認と連絡事項が届きます。

(3) 応募作品の提出

8 月 16 日（月）18:00 までに，事前申込送信後に送られた提出先にアップロードしてください。

■応募作品

- (1) 応募作品は，ポスター形式で作成してください。A1 サイズ（縦使い）とし，100MB 以下の PDF データもしくは PNG 画像データにしたものを提出してください。
- (2) 作品の表現は，模型写真，スケッチ，パース，CG等いずれを使用しても構いません。チームの提案する内容が伝わるように作成してください。特に，現状を踏まえた上で，提案作品との違いが分かるように表現してください。
- (3) 厳正なる審査を行いますので，ポスター表面には，応募高校，応募チーム名，応募者が特定できるような記載は避けてください。
- (4) 応募作品は，未発表の作品に限ります。
- (5) 応募した作品の著作権は，応募者に帰属しますが，応募作品の利用に関する権利は，主催者が保有するものとします。

■応募日程

|                        |                                           |
|------------------------|-------------------------------------------|
| 7 月 1 日（木）～8 月 16 日（月） | 事前申込受付期間（申込フォームの入力は 8 月 16 日 17：00 まで）    |
| 8 月 1 日（日）～8 月 16 日（月） | 応募作品の提出期間（提出フォームの操作は 8 月 16 日 18：00 まで有効） |
| 8 月 23 日（月）            | 1 次審査 結果発表※1                              |
| 9 月 19 日（日）            | 2 次審査 公開プレゼンテーション※2<br>表彰式※3              |

- ※1 審査結果は，8 月 23 日までに入賞者の代表メールに連絡します。後日，土木工学科ホームページにも掲載されます。
- ※2 公開プレゼンテーション（2 次審査）及び表彰式  
日時 | 9 月 16 日（日）午後（集合時刻は 12:00 を予定）  
場所 | 日本大学理工学部駿河台校舎タワー・スコラ 東京都千代田区神田駿河台 1-8-14 予定  
（状況により開催方法が変更になる場合があります。）
- プレゼンテーションは，2 名以内※4 で，パワーポイント，ポスター，模型などを利用して発表して下さい。分かりやすく，迫力のあるプレゼンテーションを期待しております。当日は審査委員から質疑がありますので，しっかりと答えてください。
- 発表時間及び終了予定時刻は，1 次審査の発表とあわせてお知らせいたします。
- ※3 表彰式は，帰りの時間に配慮して行いますが，時間が無い場合には後日賞状などを送付させていただきます。
- ※4 1 次審査通過者で，公開プレゼンテーション（2 次審査）に参加した場合，大学までの交通費を 2 名分（生徒と引率教員または生徒 2 名分）を日帰り相当旅費として，後日実費精算させていただきます。国内であればどこでも対象となります。（オンラインでの開催となった場合は，交通費の精算はありません）

■審査委員

|                      |        |                       |
|----------------------|--------|-----------------------|
| 審査委員長                | 中村 英夫  | 教 授（理工学部 / 都市交通）      |
| 審 査 委 員              | 大沢 昌玄  | 教 授（理工学部 / 都市計画）      |
|                      | 佐藤 克己  | 教 授（生産工学部 / 土木環境システム） |
|                      | 加納 陽輔  | 准 教 授（生産工学部 / 地盤工学）   |
|                      | 笠野 英行  | 准 教 授（工学部 / 橋梁工学）     |
|                      | 小間井 孝吉 | 株式会社日本海コンサルタント        |
|                      | 肥田 利弘  | さいたま市 都市局             |
| 注）審査委員は変更になる場合があります。 |        |                       |

■賞及び副賞

|             |                                            |
|-------------|--------------------------------------------|
| 最 優 秀 賞     | 1 点   団体用カップ・賞状，及び個人用トロフィ・賞状，図書券 10 万円分    |
| 優 秀 賞       | 2 点   団体用カップ・賞状，及び個人用トロフィ・賞状，図書券各チーム 5 万円分 |
| 審 査 員 特 別 賞 | 適宜   団体用賞状，及び個人用トロフィ・賞状，図書券各チーム 2 万円分      |
| 入 賞         | 適宜   個人用トロフィ・賞状，図書券各チーム 2 万円分              |



左から優秀賞団体用カップ，最優秀賞  
団体用カップ，優秀賞団体用カップ